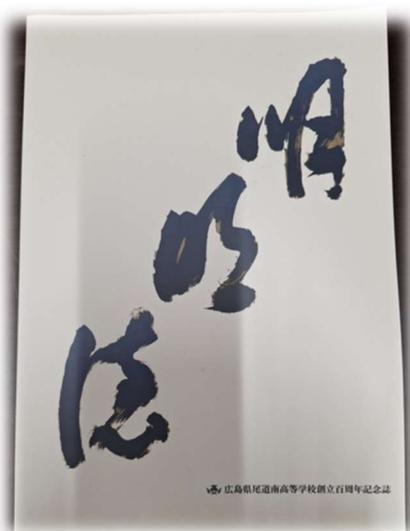


校長 eyes (204)

3月5日(水)【百周年記念誌】



表紙(明明徳)



裏面(夜の校舎)

卒業式の翌日は妙にしんみりした気持ちになるものです。そんな時に目にしたのが3年前に作成された「尾道南高等学校百周年記念誌」。本校の歴史を知る貴重な資料の数々です。その最後あたりに「生活から生まれた短歌」と題して生徒たちの作品が掲載されています。「バイトして 心は折れて 手は荒れて それで得たもの 未来に生かす」など十数首。当時のその生徒の姿を、ふと思い浮かべてしまいます。今の生徒にも伝えていきたいものです。

本日の短歌

「その時を 三十一文字で 残しけり バトンを受けて 次の百年」